

# 令和2年度 第1回 ブロック運営委員長会議が開催されました！

9/16（水）三役と各ブロックの運営委員長が出席し、第1回ブロック運営委員長会議を開催しました。今回は、本会の感染予防対策に準じて、参集型開催ではなく、オンライン開催（Zoom）としました。

平成27年の法人化に伴い、年2回開催しており、各ブロックの活動報告や研修・ブロック運営等に関して意見交換が行われています。

## 1. 新型コロナウイルス感染予防対策 Vol.3

理事・運営委員長・研修委員長へメール配信済み。基本的には令和2年3月末まで参集型の会議・研修は見合わせ、オンライン開催となる。オンライン開催に際し、本会ではZoomの有料アカウント契約済み。ブロック運営委員会等のブロック活動で活用可。

## 3. 準会員のブロック活動への参加について

9/16現在、準会員数は50名程。現在、ブロック活動への参加はなし。定款では、正会員・準会員を社員とし、総会での議決権を有している。正会員と同列の扱い。体制整備を進める上で、所属ブロックを住所及び所属先どちらとするか等、検討が必要となる。

## 4. ブロック活動運営マニュアル

ブロック活動を支援する目的で昨年度に作成し、今年度はオンライン開催に関する項目を追記する。ブロック活動費の使用用途は、オンライン開催に必要な機器を購入する事も可。ブロックで妥当と判断したものはブロックの裁量で購入しても良い。

## 5. 運営委員長の自己紹介およびブロック活動の報告

13ブロックの活動状況等を報告する。オンラインでの運営委員会・研修を行ったブロックもみられるが、10ブロックでブロック活動が行えていない状況。オンライン研修を行ったブロックでは、愛知県看護協会等の他団体とZoomの操作体験・意見交換会を開催。事前にブロック会員へコロナ禍での状況（面会制限や面会方法の工夫・退院前カンファレンスの開催有無等）について、アンケート調査を実施し、回答を基に参集型・オンラインでのハイブリッド研修を開催予定のブロックもみられた。

ブロック運営では、運営委員の選任方法や後任探しでの苦労・ブロック活動に興味をもってもらえる工夫があれば教えて欲しい等の報告あり。

協会に対する質問事項や要望では、研修講師に音声付パワーポイント等で研修資料を作成いただき、ブロック会員へ配信する。質疑応答は運営委員が対応し講師へ確認する。そのような形式でのブロック研修は認められるか？との質問あり。

⇒ ブロック研修とみなして良い。講師料の支払いも認める。参加者にはレポートの提出を求めると良いか。

## 6. 意見交換（全体）

### （1）運営委員の選定

- ・例年は懇親会で運営委員を決定するが、懇親会が中止となり、決定する場を検討中。
- ・くじ引きで運営委員を決定するが、決定した会員から断られた。運営委員が嫌で退会する会員もあり、無理には進められず苦慮している。

⇒ 輪番制やくじ引きには限界がある。安定したブロック運営を行う上で、ブロック内の同意が得られれば、前向きに参画したい会員が複数年に渡り運営委員を務める事を認めても良いのではないかと意見あり。

### （2）オンラインでの運営

- ・オンライン環境が整っているかを確認するブロック企画を設けても良い。
- ・LINE を活用してブロック運営委員会を開催した。
- ・今年度はオンラインでのブロック運営の基礎づくりの年度と捉えている。
- ・オンライン研修であれば、遠方のブロック同士の共催も可能となるメリットあり。

## 7. その他

### （1）会員調査への協力依頼

本会では、COVID-19 の影響調査・会員基礎調査を実施。第 1 弾は、COVID-19 の影響調査を実施し、調査期間は 9/7（月）から 10/5（月）。調査方法は、Web 上での回答とし、会員システムのメール一斉配信で配信する。会員システム未登録の会員には、ブロック連絡網を通じて、会員調査への回答及び第 2 弾に備え会員登録の案内をお願いしたい。

ブロック活動（運営委員会・研修等）のオンライン開催をサポートできるよう、ブロック活動で使用する Zoom の有料アカウント契約、ノートパソコンの購入など協会事務所のオンライン環境の整備を行いました。

今年度はコロナ禍の影響で、ほとんどのブロックでブロック活動が行えていない状況でした。今回の運営委員長会議での意見交換がブロック活動再開のきっかけとなれば幸いです。

報告者：名古屋共立病院 加藤哲也